



設定のばらつき

- 構成のばらつき通知と障害 (1 ページ)
- 構成ドリフトのメインページにアクセスする (3 ページ)
- 欠落しているコントラクト構成の確認 (5 ページ)
- 欠落している EPG 構成の確認 (7 ページ)
- 欠落している VRF 構成の確認 (9 ページ)
- 構成のばらつきのトラブルシューティング (11 ページ)

構成のばらつき通知と障害

パブリッククラウドに Cisco ACI を展開する場合、Cloud APIC からほとんどのファブリック構成を実行します。ただし、お客様または別のクラウド管理者が、AWS または Azure が提供するツールを使用して、クラウドプロバイダーの GUI で展開された構成を直接変更する場合があります。このような場合、Cloud APIC から展開した意図した構成とクラウドサイトの実際の構成が同期しなくなる可能性があります。これを構成のばらつきと呼びます。

リリース 5.0(2) 以降、Cloud APIC は、Cloud APIC から展開したものとクラウドサイトで実際に構成されたものとの間のセキュリティポリシー（コントラクト）構成の不一致を可視化します。



- (注)
- リリース 25.0(1) 以降、コントラクトに加えて、EPG および VRF の構成ドリフト情報を使用できます。
 - リリース 25.0(4) 以降では、レイヤ 4～レイヤ 7 のサービス グラフが添付されているかどうかに関わらず、コントラクト ドリフト情報が使用可能になりました。

詳細については、「[リリース 25.0\(4\) の更新 \(2 ページ\)](#)」を参照してください。

構成のばらつきの分析には 2 つの側面があります。

- Cloud APIC で構成され、クラウドファブリックにデプロイされる予定のすべてのファブリック要素が適切に展開されましたか?

このシナリオは、クラウドに展開できなかった Cloud APIC のユーザー構成エラー、クラウドプロバイダー側の接続または API の問題、またはクラウド管理者がクラウドプロバイダーの UI で直接セキュリティルールを手動で削除または変更した場合に発生する可能性があります。意図されていても欠落している構成は、Cloud APIC ファブリックに問題を引き起こす可能性があります。

- クラウドに存在するが、Cloud APIC から展開することを意図していない追加の構成はありますか？

前のシナリオと同様に、これは、接続または API の問題がある場合、またはクラウド管理者がクラウドプロバイダーの UI で直接追加のセキュリティルールを手動で作成した場合に発生する可能性があります。既存の、意図されていない構成では、問題が発生する可能性があります。

リリース 25.0(4) の更新

リリース 25.0(1) 以降、コントラクトに加えて、EPG および VRF の構成ドリフト情報を使用できます。

リリース 25.0(4) 以降、構成ドリフトに対して次の変更が加えられました。

- 構成ドリフトがデフォルトで有効になりました。
- リリース 25.0(4) 以前では、構成ドラフト情報は、レイヤ 4～レイヤ 7 のサービス グラフが添付されたコントラクトは使用できませんでした。リリース 25.0(4) 以降では、レイヤ 4～レイヤ 7 のサービス グラフが添付されているかどうかに関わらず、コントラクトドリフト情報が使用可能になりました。詳細については、「[レイヤ 4 からレイヤ 7 サービスの展開](#)」を参照してください。
- 構成ドリフト情報は、[クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)] にある 1 つのページに統合されました。

Detection Summary			
Unmanaged Objects	Objects with Drifts	Last Drift Check	
32	0	Jul 08 2022 08:37:26am -07:00	
Object	Status	Drift Type	Last Configuration Update
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b67e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureInfraBackendHealthPorts	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:43:56am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b67e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureLoadBalancer	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:32:32am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b67e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/vr1-east-VM1-nsg/securityRules/SSH	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:32:32am -07:00

詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

構成ドリフトのメインページにアクセスする

リリース 25.0(4)以降、構成ドリフト情報が単一の[ドリフト (Drifts)]ページに統合されるようになりました。

[ドリフト (Drifts)]ページは、次の情報を提供するために使用されます。

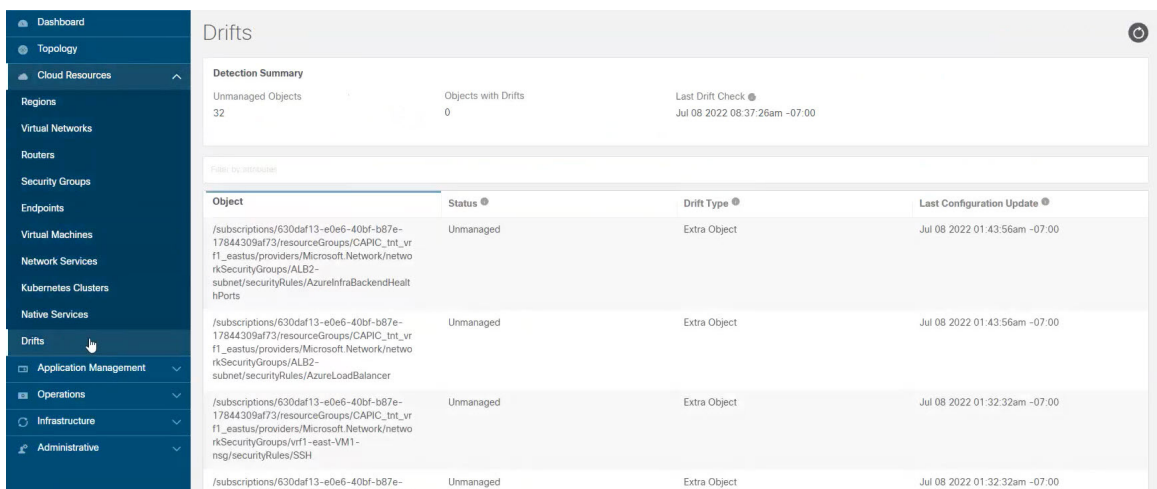
- 何か削除されたかどうかを確認するには
- 存在する必要があるものが正しく表示されていることを確認するには

ステップ 1 Cloud APIC GUI にログインします。

ステップ 2 次の順に構成ドリフトのメインページに移動します。

[クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)]

統合された[ドリフト (Drifts)]ページが表示されます。



The screenshot shows the 'Drifts' page in the Cloud APIC GUI. The left sidebar contains navigation options like Dashboard, Topology, Cloud Resources, and various service categories. The main content area is titled 'Drifts' and includes a 'Detection Summary' section with statistics for Unmanaged Objects (32) and Objects with Drifts (0). Below this is a table listing detected drifts.

Object	Status	Drift Type	Last Configuration Update
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b87e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureInfraBackendHealthPorts	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 08:37:26am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b87e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/ALB2-subnet/securityRules/AzureLoadBalancer	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:43:56am -07:00
/subscriptions/630daf13-e0e6-40bf-b87e-17844309af73/resourceGroups/CAPIC_int_vr1_eastus/providers/Microsoft.Network/networkSecurityGroups/vr1-east-VM1-rsg/securityRules/SSH	Unmanaged	Extra Object	Jul 08 2022 01:32:32am -07:00

[ドリフト (Drifts)]ページでは、ファブリック内の構成の問題の概要を確認できます。

[検出の概要 (Detection Summary)]のエリアには、管理対象または管理対象外のオブジェクトとして検出された構成ドリフトの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある[更新]アイコンをクリックして情報を更新できます。

ステップ 3 [検出の概要 (Detection Summary)]エリア下の表の情報を使用して、構成のドリフトを見つけます。

- **オブジェクト**：構成ドリフトに関連するオブジェクトに関する情報を提供します。
- **ステータス**：[ステータス (Status)]列に表示される可能性のあるさまざまな値を次に示します。
 - **Transient (低)**：最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。

- Presumed (中) : 一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - Raised (高) : クリティカルなドリフト。Cloud APIC の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再デプロイすると、Cloud APIC とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
 - Unmanaged : Cisco Cloud APIC を介して作成されていない追加のインベントリ オブジェクトに関連する構成のドリフト。
- **ドリフト タイプ** : 以下は、[ドリフト タイプ (Drift Type)]列に表示される可能性のあるさまざまな値です。
- Configuration : 意図した構成と実際の構成が同期しなくなる可能性がある、クラウドプロバイダー サイトの外部変更。EPG または VRF に関連する構成ドリフトに使用されます。
 - Rule : 意図したセキュリティ ルールと、コントラクトを通じて確立された予期されるルールとが同期しなくなる可能性がある、クラウドプロバイダー サイトの外部変更。コントラクトに関連する構成ドリフトに使用されます。
 - Extra Object : Cisco Cloud APIC を介して作成されなかった追加のインベントリ オブジェクトを表示するために使用されます。Cisco Cloud APIC は、これらのオブジェクトでドリフト検出を実行しません。
- **Last Configuration Update** : 最後に構成が更新された日時に関する情報を提供します。

ステップ 4 必要に応じて、フィルタ行に情報を入力して、表に示されている構成ドリフトをフィルタリングします。

- a) **[検出の概要 (Detection Summary)]**エリアの下にあるフィルタ行をクリックします。次のフィルタタイプが表示されます。
- オブジェクト
 - ステータス
 - Drift Type
 - Last Configuration Update
 - 親パス

フィルタに適したタイプを選択します。

- b) 必要な演算子をクリックします。

次のオプションがあります。

- == : 等号演算子
- != : 不等号演算子

- c) 必要なドリフト タイプをクリックします。

オプションは、Extra Object、Rule、および Configuration です。詳細については、上記のドリフトタイプフィールドの説明を参照してください。

テーブルのエントリは、上記の選択に基づいてフィルタリングされます。

ステップ 5 必要に応じて、特定の構成ドリフトに関する追加情報を表示します。

このページにリストされているオブジェクトについては、**[構成ドリフト (Configuration Drifts)]** テーブルの該当する行をクリックして、追加の構成ドリフト情報を表示できます。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。**[詳細 (Details)]** アイコン (🔍) をクリックすると、この特定のオブジェクト向けの適切な **[クラウドマッピング (Cloud Mapping)]** ページが自動で表示されます。

特定のオブジェクトに関する追加の構成ドリフト情報については、次のセクションを参照してください。

- [欠落しているコントラクト構成の確認 \(5 ページ\)](#)
- [欠落している EPG 構成の確認 \(7 ページ\)](#)
- [欠落している VRF 構成の確認 \(9 ページ\)](#)

欠落しているコントラクト構成の確認

このセクションでは、Cloud APIC から構成したが、クラウドファブリックに適切にデプロイされていないコントラクト設定を確認する方法について説明します。

ステップ 1 Cloud APIC GUI にログインします。

ステップ 2 **[アプリケーション管理 (Application Management)]** >> **[コントラクト (Contracts)]** をクリックします。

ステップ 3 適切なコントラクトをダブルクリックして、そのコントラクトの **[概要 (Overview)]** ページを表示します。

ステップ 4 該当する場合は、**[サービスグラフ (Service Graph)]** エリアに表示されるサービスグラフ情報に注意してください。

リリース 25.0(4) 以前では、構成ドラフト情報は、レイヤ 4 ~ レイヤ 7 のサービスグラフが添付されたコントラクトは使用できませんでした。リリース 25.0(4) 以降では、レイヤ 4 ~ レイヤ 7 のサービスグラフが添付されているかどうかに関わらず、コントラクトドリフト情報が使用可能になりました。詳細については、「[レイヤ 4 から レイヤ 7 サービスの展開](#)」を参照してください。

ステップ 5 **[クラウドマッピング (Cloud Mapping)]** タブをクリックします。

クラウドマッピングビューには、コントラクトとそれが使用するクラウドリソースに関するすべての情報が表示されます。

The screenshot shows the 'Contract NFA_contract' interface. At the top, there are tabs for Overview, Topology, Cloud Resources, Application Management, Cloud Mapping, and Event Analytics. Below the tabs, there is a notification bar stating 'Detection of configuration drifts is still in beta.' The main content area is divided into three sections: 'Detection Summary', 'Related Objects', and 'Configuration Drifts'. The 'Detection Summary' section shows 'Configuration Drift Status' as '0 Drifts Found', 'Configured Cloud Resources' as '87', 'Expected Cloud Resources' as '87', and 'Last Drift Check' as 'Jul 08 2022 08:37:26am -07:00'. The 'Related Objects' section shows 'Consumer EPGs' as '1', 'Provider EPGs' as '1', and 'Filters' as '1'. The 'Configuration Drifts' section shows a table with columns for Status, Type, Protocol, From Port, To Port, Source, Destination, Network Security Group, NSG Cloud Provider ID, Consumer EPGs, Provider EPGs, Drift Type, Description, and Recommendation. The table is currently empty, with the message 'No rows found' displayed below it.

(注) [クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)] の順にクリックしてこのページに移動することも可能で、その後[構成ドリフト (Configuration Drifts)] の表で適切な行をクリックします。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。[詳細 (Details)] アイコン (🔍) をクリックすると、この特定のオブジェクト向けの適切な[クラウドマッピング (Cloud Mapping)] ページが自動で表示されます。詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

画面は、[検出の概要 (Detection Summary)]、[関連オブジェクト (Related Objects)]、[構成ドリフト (Configuration Drifts)] および[提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の4つのセクションに分かれています。各セクションには、選択したコントラクトに関するそれぞれの情報をリストした表が含まれています。

- [検出の概要 (Detection Summary)] の表には、検出された構成ドリフトの数、構成された意図された実際のクラウドリソースの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある[更新] アイコンをクリックして情報を更新できます。
- [関連オブジェクト (Related Objects)] エリアには、コントラクトに関連するその他のオブジェクト (コンシューマーやプロバイダーの EPG、フィルタなど) が表示されます。
- 構成のばらつきテーブルには、コントラクトルールに関するすべての問題が一覧表示されます。具体的には、展開することを意図していたが、実際のファブリック構成に欠落しているすべてのコントラクトルール。

この表には、使用されるプロトコル、ポート範囲、送信元と宛先の IP またはグループ、コンシューマーとプロバイダーの EPG、問題の説明、問題を解決するための推奨アクションなどの詳細情報が含まれています。構成ののばらつきごとに、[ステータス] フィールドにシビラティ (重大度) と推奨されるアクションが示されます。

- Transient (低) : 最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。

- Presumed (中) : 一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - Raised (高) : クリティカルなドリフト。Cloud APIC の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再デプロイすると、Cloud APIC とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
- [提示されたクラウド リソース (Presented Cloud Resources)] の表には、クラウドで適切に構成されたすべてのリソースに関する情報が表示されます。この表は、特定のコントラクトのためにクラウドで構成されているルールをよりよく把握できるように設計されています。

欠落している EPG 構成の確認

このセクションでは、Cloud APIC から構成したが、クラウドファブリックに適切に展開されていない EPG 設定を確認する方法について説明します。

ステップ 1 Cloud APIC GUI にログインします。

ステップ 2 [アプリケーション管理 (Application Management)] >> [EPG] をクリックします。

ステップ 3 適切な EPG をダブルクリックして、その EPG の [概要 (Overview)] ページを表示します。

ステップ 4 [クラウドマッピング (Cloud Mapping)] タブをクリックします。

[クラウドマッピング (Cloud Mapping)] ビューには、EPG とそれが使用するクラウドリソースに関するすべての情報が表示されます。

The screenshot shows the Cloud APIC GUI for EPG vrf1-epg1. The 'Cloud Mapping' tab is active. A notification states 'Detection of configuration drifts is still in beta.' Below this, a 'Detection Summary' table shows 2 configuration drifts found, 2 configured cloud resources, and 2 expected cloud resources. The last drift check was on Jul 08, 2022 at 08:46:00am -07:00. Under 'Related Objects', there are 2 application security groups, 2 network security groups, 2 provider contracts, and 0 consumer contracts. The 'Configuration Drifts' table is currently empty, showing 'No rows found'. At the bottom, there is a 'Presented Cloud Resources' section.

- (注) [クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)] の順にクリックしてこのページに移動することも可能で、その後 [構成ドリフト (Configuration Drifts)] の表で適切な行をクリックします。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。[詳細 (Details)] アイコン (🔍) をクリックすると、この特定のオブジェクト向けの適切な [クラウドマッピング (Cloud Mapping)] ページが自動で表示されます。詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

画面は、[検出の概要 (Detection Summary)]、[関連オブジェクト (Related Objects)]、[構成ドリフト (Configuration Drifts)] および [提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の4つのセクションに分かれています。各セクションには、選択した EPG に関するそれぞれの情報をリストした表が含まれています。

- [検出の概要 (Detection Summary)] の表には、検出された構成ドリフトの数、構成された意図された実際のクラウドリソースの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある [更新] アイコンをクリックして情報を更新できます。
- [関連オブジェクト (Related Objects)] エリアには、セキュリティグループ、コントラクトなど、EPG に関連するその他のオブジェクトが表示されます。
- [構成ドリフト (Configuration Drifts)] テーブルには、EPG に関連付けられたセキュリティグループに関するすべての問題が一覧表示されます。具体的には、展開することを意図していたが、実際のファブリック構成に欠落しているすべてのセキュリティグループ。

この表には、論理 DN、クラウドプロバイダー ID、ドリフトタイプ、問題の説明、問題を解決するための推奨アクションなどの詳細情報が含まれています。構成ののばらつきごとに、[ステータス] フィールドにシビラティ (重大度) と推奨されるアクションが示されます。

- **Transient (低)** : 最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。
 - **Presumed (中)** : 一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - **Raised (高)** : クリティカルなドリフト。Cloud APIC の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再デプロイすると、Cloud APIC とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
- [提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の表には、クラウドで適切に構成されたすべてのリソースに関する情報が表示されます。このテーブルは、クラウド内の特定の EPG に関連付けられているセキュリティグループをより適切に可視化できるように設計されています。

欠落している VRF 構成の確認

このセクションでは、Cloud APIC から構成したが、クラウドファブリックに適切に展開されていない VRF 設定を確認する方法について説明します。

ステップ 1 Cloud APIC GUI にログインします。

ステップ 2 [アプリケーション管理 (Application Management)] >> [VRF] をクリックします。

ステップ 3 適切な VRF をダブルクリックして、その VRF の [概要 (Overview)] ページを表示します。

ステップ 4 [クラウドマッピング (Cloud Mapping)] タブをクリックします。

[クラウドマッピング (Cloud Mapping)] ビューには、VRF とそれが使用するクラウドリソースに関するすべての情報が表示されます。

The screenshot shows the Cloud APIC interface for VRF vrf1. The 'Cloud Mapping' tab is selected. A notification at the top states 'Detection of configuration drifts is still in beta.' Below this, the 'Detection Summary' section shows 'Configuration Drift Status' as '0 Drifts Found', 'Configured Cloud Resources' as 13, 'Expected Cloud Resources' as 13, and 'Last Drift Check' as 'Jul 08 2022 08:46:00am -07:00'. The 'Related Objects' section lists 'Application Security Group' (8), 'Network Security Groups' (7), 'CIDRs' (4), and 'Subnets' (7). The 'Configuration Drifts' section has a table with columns: Status, Logical DN, Region, Primary CIDR, Drift Type, Description, and Recommendation. The table is currently empty, showing 'No rows found'. The interface includes navigation tabs (Overview, Topology, Cloud Resources, Application Management, Cloud Mapping, Statistics, Event Analytics) and a search bar.

(注) [クラウドリソース (Cloud Resources)] >> [ドリフト (Drifts)] の順にクリックしてこのページに移動することも可能で、その後 [構成ドリフト (Configuration Drifts)] の表で適切な行をクリックします。サイドパネルにこの特定の構成ドリフトに関する情報がさらに表示されます。[詳細 (Details)] アイコン (🔍) をクリックすると、この特定のオブジェクト向けの適切な [クラウドマッピング (Cloud Mapping)] ページが自動で表示されます。詳細については、「[構成ドリフトのメインページにアクセスする \(3 ページ\)](#)」を参照してください。

画面は、[検出の概要 (Detection Summary)]、[関連オブジェクト (Related Objects)]、[構成ドリフト (Configuration Drifts)] および [提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)] の 4 つのセクションに分かれています。各セクションには、選択した VRF に関するそれぞれの情報をリストした表が含まれています。

- [検出の概要 (Detection Summary)] の表には、検出された構成ドリフトの数、構成された意図された実際のクラウドリソースの数、およびこの情報が最後に更新された時刻の概要が表示されます。在庫更新のタイムスタンプが古い場合は、この画面の右上隅にある [更新] アイコンをクリックして情報を更新できます。

- **[関連オブジェクト (Related Objects)]** エリアには、セキュリティグループ、CIDR、サブネットなど、VRF に関連するその他のオブジェクトが表示されます。
- **[構成ドリフト (Configuration Drifts)]** の表には、仮想ネットワーク、仮想ネットワークに関連付けられている CIDR、およびそれらの CIDR 内のサブネットに関するすべての問題が一覧表示されます。具体的には、展開することを意図していたが、実際のファブリック構成に欠落しているすべての仮想ネットワーク、CIDR およびサブネット。

いずれかのレベルで構成ドリフトがある場合、表にはそのレベルでの構成ドリフトが表示され、それより下のレベルでの構成ドリフトは表示されないことに注意してください。たとえば、構成ドリフトが CIDR レベルで発生し、その CIDR 内の対応するサブネットの場合、テーブルには CIDR エリアの構成ドリフトが表示されますが、その CIDR 内の対応するサブネットの構成ドリフトは表示されません。

この表には、次のエリアの詳細情報が含まれています。

- **仮想ネットワーク** : 論理 DN、リージョン、プライマリ CIDR、ドリフトタイプ、問題の説明、およびそれを解決するための推奨されるアクションに関する情報を提供します。
- **CIDR** : 論理 DN、リージョン、CIDR ブロック範囲、プライマリ CIDR かどうか、CIDR 内のサブネット、ドリフトタイプ、問題の説明、およびそれを解決するための推奨されるアクションに関する情報を提供します。
- **サブネット** : 論理 DN、リージョン、IP アドレス、ドリフトタイプ、問題の説明、およびそれを解決するための推奨されるアクションに関する情報を提供します。

構成ののばらつきごとに、[ステータス] フィールドにシビラティ（重大度）と推奨されるアクションが示されます。

- **Transient (低)** : 最近の構成変更が原因である可能性が高いドリフト。ファブリックが安定するまで待つことをお勧めします。ばらつきは、次の構成の更新後に自然に解決する可能性があります。
 - **Presumed (中)** : 一時的である場合とそうでない場合があるドリフト。状態を監視し、ばらつきが続く場合は構成のトラブルシューティングを行うことをお勧めします。
 - **Raised (高)** : クリティカルなドリフト。Cloud APIC の構成を確認し、関連する障害を確認することをお勧めします。構成を再デプロイすると、Cloud APIC とクラウドサービス間の通信の問題を解決できる場合があります。問題が解決しない場合は、テクニカルサポートログを確認してください。
- **[提示されたクラウドリソース (Presented Cloud Resources)]** の表には、クラウドで適切に構成されたすべてのリソースに関する情報が表示され、**[構成ドリフト (Configuration Drifts)]** の表（仮想ネットワーク、CIDR、およびサブネット）に表示されるのと同じ階層に分割されます。このテーブルは、クラウド内の特定の VRF に関連付けられている仮想ネットワーク、CIDR、およびサブネットをより適切に可視化できるように設計されています。

構成のばらつきのトラブルシューティング

このセクションでは、構成のばらつきプロセスが Cloud APIC で稼働していることを確認し、アプリケーション ログを確認し、必要に応じてテクニカル サポート情報を生成するためのいくつかの便利なコマンドを提供します。

ステップ 1 root ユーザーとしてコンソール経由で Cisco Cloud APIC にログインします。

ステップ 2 構成のばらつきアプリケーションのステータスを確認します。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# moquery -d pluginContr/plugin-Cisco_CApicDrift | egrep "dn |pluginSt |operSt |version"
dn: pluginContr/plugin-Cisco_CApicDrift
operSt: active
pluginSt: active
Verison: 5.1.0
```

ステップ 3 アプリケーション コンテナのステータスを確認します。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# docker ps | grep drift
CONTAINER ID        IMAGE                                     COMMAND                                CREATED            STATUS
NAMES
649af6feb72c       a5ea08bbf541                            "/opt/bin/conit.bi..." 13 hours ago      Up 13
hours              drift-api-b703e569-0aa6-859f-c538-a5fecbc5708f
```

ステップ 4 すべての Docker コンテナによって消費されるメモリを確認します。

消費されるメモリの合計量は 12GB 未満である必要があります。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# systemctl status ifc-scheduler_allocations.slice | grep Memory
```

ステップ 5 必要に応じて、テクニカル サポート ログを収集します。

ログは、コントローラの /data/techsupport ディレクトリに保存されます。

```
ACI-Cloud-Fabric-1# trigger techsupport controllers application CApicDrift
ACI-Cloud-Fabric-1# trigger techsupport controllers application CApicDrift vendorName Cisco
```

ステップ 6 アプリケーション ログを確認します。

構成のばらつきプロセスのログは、/data2/logs/Cisco_CApicDrift ディレクトリに保存されます。

runhist.log ファイルには、アプリケーションが開始されるたびに情報が記録されます。次に例を示します。

```
# cat runhist.log
1 - Thu Jun 11 23:55:59 UTC 2020
2 - Fri Jun 12 01:19:41 UTC 2020
```

drift.log ファイルはアプリケーション ログ ファイルであり、構成ドリフトが更新された回数と各更新にかかった時間を表示するために使用できます。

```
# cat drift.log | grep ITER
{"file": "online_snapshot.go:178", "func": "Wait", "level": "info", "msg": "ITER# 109
```

```
ENDED === RDFGEN TIME: 1m40.383751649s, MODEL UPLOAD TIME 5m54.245550374s;  
TOTAL     TIME:: 7m34.629447083s", "time": "2020-06-12T19:53:13Z"}
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。